

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

| | | | |
|-----|------------------------|------|----------|
| 団体名 | 多文化共生センターひょうご | 代表者名 | 代表 北村 広美 |
| 事業名 | 外国にルーツをもつ青少年の学習・キャリア支援 | | |

<事業実施実績>

| 年 月 日 | 活 動 内 容 |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| 通年 | 個別学習支援（中学生～20代） 計38回 |
| 通年 | 学習ツール作成（動詞活用フラッシュカード他） ホームページでの公開 |
| 2020年4月～7月 | インターンシップ受け入れによる支援者育成 計18回 |
| 7月～9月 | オープンキャンパス（ウェブ開催）参加 計3回 |
| 4月16.18日 | キャリア支援（大学生活について） |
| 6月 2日 | 地域行事参画（まちづくり協議会） |
| 7月3.16日 8月28日、9月10日 11月18日 | 個別相談（就職） |
| 10月 5日 | 個別相談（キャリア支援） |
| 10月11日 | 地域行事参画（多文化フェスティバル深江） |
| 1月 8日 | 個別相談（奨学金） |
| 2月4.8日 | 人材育成（大学関係者） |

<効果と成果>

外国ルーツの青少年の学習・キャリア支援について、「中学卒業後」も継続して支援を行うことで、大学進学など具体的な成果を出すことができた。特に、大学進学に関しては、単に成績や偏差値といった指標だけでなく、「なりたい将来像」をじっくり聴き取ることで、最適な進学先を提案することができた。外国ルーツの青少年にとって、学習の遅れやつまずきだけでなく、将来の夢を実現するためにはどのような学校・学部を選択するのがよいかという情報を得られる機会は少ないが、それらに対しても多くの選択肢を提供することができた。近年、一般入試だけでなく、A0入試等本人の経験や能力を重視する受験方式が増えているが、本人がもつ多様なバックグラウンドを「強み」としてアピールすることで、自尊感情の向上にも役立てることができた。地域活動への参画という機会は、本人にプラスになっただけでなく、受験対策（地域貢献の経験のアピール）としての効果もあった。今後は具体的な学習プロセスを公開し、より広く発信していきたいと考えている。

<収支決算書>

(収入)

| 項 目 | 金 額 (円) |
|-------------------|---------|
| 地域づくり活動 NPO 事業助成金 | 500,000 |
| 自己資金 | 385,784 |
| 合 計 | 885,784 |

(支出)

| 区分 | 項 目 | 金 額 (円) | 左のうち助成対象 金額 (円) |
|--------------|---------------|---------|--------------------|
| 直接 経 費 | 人件費、謝金 | 702,000 | 316,216 |
| | 旅費交通費 | 106,060 | 106,060 |
| | 印刷費 | 39,052 | 39,052 |
| | その他（教材費、消耗品等） | 9,336 | 9,336 |
| | 小 計 | 856,448 | 470,664 |
| | 間接経費（一般管理費） | 29,336 | 29,336 |
| | 合 計 | 885,784 | 500,000 |